

名前：

現在の著者は、自分を含め雑誌、新聞を読む時間よりもインターネットでニュースを読む時間の方が長い。これは、紙媒体はお金がかかるというところの理由である。インターネットよりも紙媒体の方が様々な面でコストがかかるから当然である。このように紙か電子メディアを見る時間が多くなることにより、広告料も電子メディアへ流れ、ビジネスモデルが成り立たなくなると恐れがある。さらに紙媒体は即座性に劣るという点で決定的な弱点を持つ。日経新聞などは、すでに情報へビュースーザーはオンラインのものしか見ないと言われているので速さや勝負の情報(ニュースなど)はますます電子化が進むと考えられる。

ただ一方、紙媒体が完全に消えるかと言われるかはそう簡単にはないという答えになるだろう。昔の中国で、紙が発明されてからも、竹を削って文字を印すもの(名前を忘れてしまったか)は百年以上残った。このような例か

らもわかるように、一瞬で紙媒体が消えることはなく、時代の移り変わりによって徐々に斜陽していくと考えられる。

あまり注目されていなくてもいいかもしないか紙の利点として、紙媒体の方が頭に入りやすいということがある。パソコンの画面で読むとスピードや理解力が2割減るという実験もあるらしい。新聞はないかもしないか雑誌や本はもうすぐ手軽に出来るということも大きい。

よってこれらを考えると、紙媒体の新聞や雑誌はこれから徐々に消えていくだろうが、かなりの時間をかけて減り、しかも完全に消えることはないと考えられる。